

鳴子ダムで「すだれ放流」と「鯉の滝のぼり」

すだれ放流は昭和33年ダム完成当初より、5月の大型連休に実施しています。

ダムの前面には約50本の鯉のぼりを設置し、すだれに映る影が滝をのぼっているように見えることから、「鯉の滝のぼり」として地域の方や観光客に親しまれています。

本行事はH28年で49回目となり、H27年(5月1日～6日)は約6,800人が来場しました。

「すだれ放流」は、ほぼ毎年行われており、ダム上部(堤頂越流部)から水を流し、ダム施設の安全を確認するものです。幅95m、高さ約80mの巨大な滝が出現、流れ落ちる様子は、非常に迫力があります。

今年のすだれ放流は5月2日から5月5日まで実施します。

また、例年ダム下流に設置している「鯉のぼり」は大崎市鳴子総合支所が主体となり、4月29日から5月5日の期間、手作り鯉のぼり約50本を設置します。

放流によって出来たすだれに映る鯉のぼりの影が滝を登るように見えることから、「鯉の滝のぼり」と言われ、地域の方や観光客の方からも広く親しまれています。(別紙参照)

(※鯉のぼりの設置作業日は、4月28日13:00～を予定。天候により時間、日にちが変わることがあります。)

また5月2日には、鳴子まちづくり協議会による、オープニングセレモニーを開催します。

○すだれ放流オープニングセレモニー

開催日：5月2日(月) 10:00～

場所：鳴子ダム堤体左岸

実施内容：あいさつ 鳴子まちづくり協議会代表
鳴子踊り 鳴子伝統踊り保存会

※洪水が予想される場合、地震が発生した場合、また、すだれ放流を継続できる流入量がない場合、「すだれ放流」を中止する場合があります。

【発表記者会】古川記者クラブ

主催：鳴子ダムすだれ放流実行委員会

(※メンバーは別紙参照)

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所
〒989-6806 宮城県大崎市鳴子温泉字岩淵2-8
TEL 0229-82-2341 FAX 0229-83-3855

(すだれ放流)

○所長 菅原 裕彦 専門官 福士 高義

大崎市 鳴子総合支所 地域振興課内
〒989-6892 宮城県大崎市鳴子温泉字新屋敷65
TEL 0229-82-2026 FAX 0229-82-2533

(セレモニー)

○鳴子まちづくり協議会担当 主査 鈴木 一寿

(鯉のぼり)

○観光担当 係長 松岡 治 主査 遊佐 祥子

【別紙】

《鳴子ダムすだれ放流実行委員会メンバー》

鳴子まちづくり協議会、大崎市、NPO法人鬼首山学校協議会、
(一社)みやぎ大崎観光公社、鳴子温泉郷観光協会、(株)オニコウベ、
大崎地域水管理協議会、東北電力(株)、鳴子ダム管理所

【すだれ放流・鯉の滝のぼり】



※鯉のぼりの影が滝を登っているように見えます。
写真は14～15時頃撮影

【オープニングセレモニー会場案内】

